

製茶工程の省力化と安定した香気発揚を実現する萎凋機の開発

中山間地茶業の所得向上対策につながる新しい萎凋機を開発しました

背景・目的

■釜炒り茶生産地帯で取り組みが行われていた半発酵茶(新香味茶)生産において、萎凋工程は手作業で13~15時間の作業であり、品質が安定しない課題があります。そこで、茶業支場では製茶機メーカーと共同で、萎凋工程の省力化と品質安定化を目的として新しい萎凋機を開発しました。

成果の内容

- 日干萎凋と室内萎凋の工程を自動化し大幅な省力化を実現する萎凋機です。
- 日本茶AWARDの半発酵茶と紅茶部門において全国トップレベルの品質が証明されています。

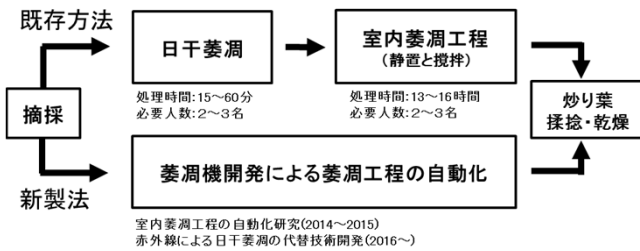


図1 萎凋機開発による省力化

表1 外部評価(日本茶AWARD)

年度	茶種	品種	受賞
2014	半発酵茶	みなみさやか	香り部門1位(特別賞)
2015	半発酵茶	みなみさやか	香り部門1位(特別賞)
2016	半発酵茶	みなみさやか	審査員奨励賞
2016	紅茶	みなみさやか	審査員奨励賞
2017	半発酵茶	べにふうき	ファインプロダクト賞
2017	半発酵茶	うんかい	審査員奨励賞
2017	紅茶	べにふうき	ファインプロダクト賞
2018	半発酵茶	べにふうき	ファインプロダクト賞
2018	紅茶	べにふうき	プラチナ賞

※受賞は現地実証の他、萎凋機導入生産者の実績を含む



図2 開発した萎凋機の構造

成果の活用方法(又は期待される効果)

- 省力的かつ安定した香気の新香味茶生産が可能のため、所得向上につながります。
- 普及対象地域・面積 宮崎県中山間地域(釜炒り茶地帯)

留意点

- カワサキ機工株式会社から「ドラム式萎凋機」という商品名で販売しています。

関連普及技術カード：平成28年後期 番号43、
 関連事業名：世界へ飛翔！宮崎オリジナル新香味茶の開発（県単）、革新的技術実証事業(国庫)
 研究期間：平成26年~30年